

# 書籍のご案内

## 渦電流探傷試験実技参考書 2018

編集：(一社)日本非破壊検査協会  
編集委員長 小山 潔  
体裁：B5版, 186頁  
定価：本体3,600円+税 (送料別)

本書の第1版は、2001年12月に初版が発刊された。この第1版は、新たな認証試験の対象として盛り込まれた「上置プローブを用いた渦電流探傷試験」についての内容を加えたのももちろんであるが、それ以外にも全体を2部構成とし、第1部は電磁誘導や表皮効果などの渦電流探傷試験の原理を理解する上で必要と思われる基礎的な実験テーマを設けて収録し、第2部では渦電流探傷装置の取り扱いについての詳細な解説、貫通プローブを用いた試験、内挿プローブを用いた試験、上置プローブを用いた試験の3手法について、基礎的な事項から試験方法まで収録し、実践的に役に立つ内容としたのが大きな特徴であり、出版当初から好評であった。

渦電流探傷試験講習会の実習のカリキュラムが検討され、従来、実際には実施されることの少なかった第1部の内容を積極的に実施することになったため、これに合わせて2008年版が出版された。2008年版では、第1部の内容を再度検討し改訂した。合わせて、第1版の第2部に相当する試験方法にも、より実践的な内容を追加した。また、全体を3部に分けて構成し直し、渦電流探傷装置を第2部として独立させ、見通しのよいものとした。

渦電流探傷試験 実技参考書 2008年版が発刊されてから約10年が経ち、

講習会などで使用されている装置などが更新され、実際の実習内容と合わない部分が散見されるようになった。そこで、全体を見直し、各プローブの試験条件や試験手順、指示書作成問題などの実技講習会資料を新たに追加し、さらに個別の実技教育に於いても活用頂けるよう内容を充実させ、本書を発刊することとした。

(はしがきより抜粋)

